

子供に関する相談は少年サポートセンターへ

青森県内の少年非行概況（令和6年10月末・暫定値）

【刑法犯少年】

- 135人（前年同期比+10人）、再犯者率は15.6%、「万引き」が31人で最多
 - 学職別では「小学生」が37人で最多
- 【特別法犯少年】21人（前年同期比-2人）

【不良行為少年】

- 1,397人（前年同期比+420人）、「喫煙」が553人で最多
- 学職別では「高校生」が531人で最多

少年サポートセンターの活動

《少年相談活動》

悩みを抱えているお子さん自身、保護者の方などから、相談に応じます。少年問題に関する専門的な知識や技能を持つ少年補導職員が対応します。

《継続的な支援活動》

少年や保護者の抱えている問題や悩みが、

- エスカレートしない
- 繰り返さない

よう、また、犯罪などの被害に遭った少年の精神的被害の回復・軽減を図り、再被害に遭わないように少年や保護者に寄り添い、継続的な支援を行っています。

少年サポートセンターの連絡先

八戸少年サポートセンター ☎0178-22-7676



広 報

な
ん
ぶ



1月号

南 部 駐 在 所
3 4 - 3 1 4 1
三 戸 警 察 署
2 2 - 1 1 3 5

冬道のスリップ事故を防止しよう

冬道の安全走行のポイント

★ 1割以上のスピードダウン

冬道は、危険がいっぱい！スピードは控えめに、ゆとりある運転をしましょう。

★ 2倍以上の車間距離

冬道は、スリップしやすいので十分な車間距離をとり、安全運転に努めましょう。

★ 3分以上早めの出発

冬道はあせりや無理な運転は禁物、時間に余裕を持って早めに出発しましょう。

- 急ブレーキや急ハンドルは控えましょう！
- カーブ手前では十分に減速を！
- 降雪や吹雪により視界が悪いときは、昼間でもライトを点灯しましょう。
- 坂道の走行には注意！
下り坂の途中で、ブレーキを強く踏むことや、不用意にシフトダウンをすることは、スリップ事故を招きます。

除排雪中の事故を防止しよう

令和5年度の雪害発生状況

1 発生件数

30件30人（-84件-83人）
死亡者 3人（-7人）



2 発生要因等

雪下ろし中に転落したものが最も多く、次いで除雪機に巻き込まれる、除排雪中に発病するものが多く発生しています。また、高齢者が多く被害に遭っています。

排除雪時の注意事項

- 命綱やヘルメットをつける
 - 滑り止めの付いた靴を履く
 - 転落時に備え、屋根の下に雪を残す
 - 除雪時は家族や近所の人に声を掛ける
- #### 除雪機による事故防止
- 点検時は必ずエンジンを停止する
 - 作業時は周りに人を近づけない
 - エンジンを掛けたまま離れない

110番は緊急通報電話です

◎110番のしくみ

青森県内で110番をすると、どこから電話をかけても、青森市にある警察本部通信指令室につながり、通報を受けながら、その内容をすぐに警察署や現場近くのパトカーに知らせます。

◎110番は緊急通報電話です。悩み・相談は#9110又は警察署へ

110番は、事件や事故のための緊急通報電話です。

事件や事故があった場合は、ためらうことなく通報してください。

しかし、近年、間違いや無言電話、緊急でない問い合わせなどの110番通報がとて多く、そのような通報が多く来ると、本当に必要な人への対応が遅れてしまいます。

110番通報に迅速に対応するために、悩み事等の相談や各種お問い合わせは、警察安全相談電話「#9110」（平日の午前8時30分から午後5時まで）又は最寄りの警察署へお願いします。

